

# 健康通信

## 市民病院の生殖医療センターにおける不妊治療実績



生殖医療センター 胚培養士  
糸井 史陽

### 不妊治療実績

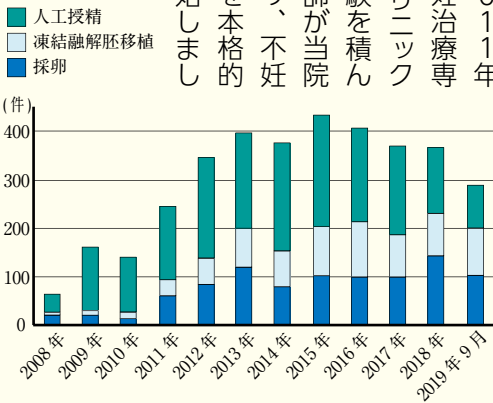
市民病院における不妊部門は、産婦人科の一部門として1995年よりスタートし、今年で24年が経過しています。このようなか、2019年5月の新病院開院にあわせ、不妊部門は「生殖医療センター」としてリニューアルし、産婦人科とは別のフロアで診察・治療等を行っています。複数の女性医師を中心に、ご夫婦の状態やご希望に合わせた最適な治療を提案しています。

### これまでの不妊治療実績の紹介

#### ● 年別の人工授精・採卵・凍結融解胚移植件数の推移

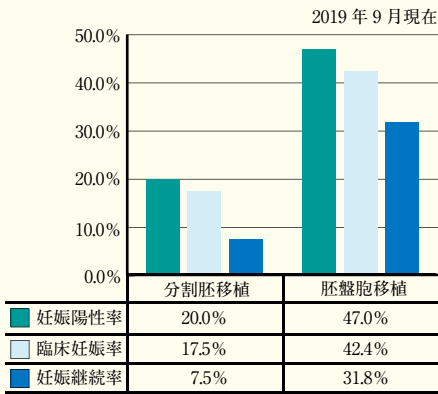
2011年

不妊治療専門クリニックで経験を積んだ医師が当院に戻り、不妊治療を本格的に開始しました。



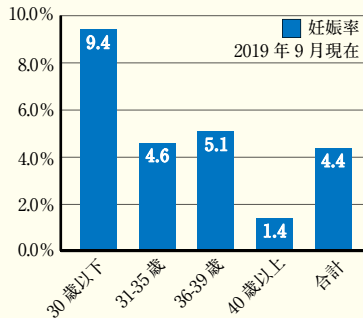
### ● 凍結融解胚移植における臨床成績

当院では、積極的に凍結融解胚移植を行っており、その中でも胚盤胞移植で良好な成績が得られています。



### ● 人工授精における臨床妊娠率

人工授精の臨床妊娠率は、年齢の上昇に伴い低下します。特に40歳以上では顕著に低下するため、早期のステップアップを提案しています。



### こんな治療もしています！

総合病院という特徴を活かし、他科と連携した治療も行っています。例えば、若年性ガン症例を対象とした医学的適応での卵子・受精卵や精子の凍結、射出精液に精子が認められない高度な男性不妊症例を対象とした精巣内精子を用いた顕微授精など、幅広く取り組んでいます。

- ① 一般検査・卵巢予備能検査(AMH)、ホルモン検査、クラミジア検査、子宮卵管造影検査、精液検査
- ② 一般不妊治療・タイミング療法、人工授精
- ③ 高度生殖医療・体外受精(IVF)、顕微授精(ICS)、レスキュー顕微授精、胚盤胞培養、精子・受精卵(胚)凍結、アシステッドハットング、融解胚移植、医学的適応卵子凍結、男性不妊症

### 生殖医療センター 外来受診案内

診察・治療フロアV: 5階(V)

診察時間: 午前8時30分~午後3時30分  
休診日: 土・日曜日、祝日、年末年始



市では不妊治療等への助成をしています。(P20)

問合先 市民病院 (☎76・4131)